

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月11日
事業名	防犯灯維持管理事業	担当課・係名	町民課 町民協働係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	23
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	防犯灯の新設・維持管理				
対象 (誰を・何を)	防犯灯、駅前110番緊急通報装置				
内容	防犯灯の新設・維持管理を行い、夜間における犯罪抑制を図る。				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	15,309	16,819	14,627
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	15,309	16,819	14,627
	職員人数 (概算職員数)	人			0.24
	人件費計 (b)	千円			1,356
総事業費 (a)+(b)	千円	15,309	16,819	15,983	
事業費内訳	光熱水費：10,447千円、修繕料：4,000千円、通信運搬費：30千円、委託料：150千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 防犯灯数	基	3,717	3,759	3,764
	② 全町民	人	33,529	33,322	33,263
活動指標 (活動量)	① 防犯新規設置・建替等修繕	件	41	18	8
	② 防犯灯球切れ修繕	件	1,386	1,390	1,450
成果指標 (達成度等)	① 刑法犯認知件数	件	183	191	187
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町が業者と修繕契約、価格協定を結ぶことで、迅速に安価で修繕を実施することができるため妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 週2回の球切れ修繕を実施しており、町民の修繕要望に迅速に対応できる体制をとっているため妥当と考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 新設要望は全てに対応できているわけではないが、既に町内に約3,760基の防犯灯が設置できており、ある程度充足できていると考える。また、球切れなど既存防犯灯の修繕要望については対応ができており、一定の成果が得られていると考える。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 防犯灯の故障調査については、自主防犯団体や町民の方々に連絡していただくことで、職員の事務量や人件費の削減が図られている。また、町や開発事業者による防犯灯の新規設置はLED防犯灯使用して電気料の削減を図っているが、既存防犯灯のLED化は進んでいない。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 既存防犯灯のLED化については、補助金の活用など方策の検討に留まり実施にまで至っていない。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 迅速な防犯灯の維持管理体制づくりができており、修繕要望への対応は一定の成果を得られているが、電気料や二酸化炭素削減等を図るため、既存防犯灯LED化の実施について検討が必要。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	防犯灯のLED化を図るため、先進都市の事例効果を確認すると共に、電機メーカー等からの提案を比較し、長期的な維持管理についての検討を行う。
② 平成26年度に着手する事項	長期的な維持管理費用の比較の上、整備計画を立案する。
③ その他（課題、調整事項等）	

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

既存防犯灯（約3,700灯）のLED化を実施し、電気料や二酸化炭素排出量の削減、電球寿命の延長による維持管理の効率化により、安定した防犯効果の提供を行う。 灯具の交換に係る費用は高額であることから、本事業は設備投資にかかる費用を、LED化による電気料及び修繕料の削減コスト内で設定する民間資金を活用した事業（ESCOプロジェクト）を活用し、取り組みに着手する。
